

# 1 教育目標

## (1) 本校の教育目標

校訓「つよい子・つくる子・やさしい子」のもと、ユネスコスクール・青少年赤十字加盟校としての視点に立った「知・徳・体」の調和のとれた人の心と命を大切にす  
る心豊かな児童の育成を図る。

### 校訓

### 【目指す児童像】

つよい子	.....	「いのち」を大切にし、体をきたえ、やりぬく子	(体育)
つくる子	.....	すすんで「学び」、はたらく子	(知育)
やさしい子	.....	人のことを「思い」、人の役にたつ子	(徳育)

### 【目指す学校像】

人と出会い、かかわり、触れ合う活動を通して、心が動く魅力ある学校

### 【目指す教師像】

- ・ 児童に寄り添い、厳しさの中に優しさのある教師
- ・ 教育専門職として自らの授業力を高める教師
- ・ 失敗を恐れず小さな実践を積み重ねる教師
- ・ 柔軟で人と対等につながる感性をもつ教師
- ・ 社会の常識は学校の常識として自らの行動を示す教師
- 子どもの成長の積み上げを図り「切れ目なく線につながる」教育活動を展開しよう
- 危機管理・地域連携・マネジメント・人材育成に目を向けよう
- ◎ 視野を広めよう

## (2) 経営方針

全職員の共通理解と協力体制のもと、児童に関する情報共有を徹底し、教育目標の具現化を図る。

- ア 管理職は、「勤めたくなる学校」を目指し、「通いたくなる学校、通わせたい学校」を推進する責任と覚悟のもとに、柔軟な学校経営を行う。
- イ 職員一人一人の個性と能力(適材適所)を生かして、児童の良さ・個性を伸ばす。
- ウ 地域との連携を通して、地域参画型の学校づくりを推進する。
- エ 現職教育を計画的に進め、学校の教育力、教師の指導力の向上に努める。
- オ 報告・連絡・相談・確認を確実に行う。
- カ 教職員の多忙化解消を目指し、一層の業務改善を図る。

## (3) 本年度の重点努力目標

- ア 児童の基本的な生活習慣の育成
  - 「挨拶、返事、聞く態度」など、良好な人間関係づくりに必要な社会的スキルを身に付けさせる。
  - 自分の良さ、他者の良さに目を向け、共に生きる力を身に付けさせる。
- イ 児童の学習意欲の向上と学習習慣の育成
  - 教室の美化に努め、学習環境を整え、学習規律の定着を図る。
  - 授業研究を推進し、児童の主体的な考えや活動を前面に出し、児童同士が学び合う授業をつくる。
  - 道徳の授業の一層の充実を図る。
  - 特別支援教育についての理解を深め、積極的に関わりをもつ。
- ウ 児童が主体的に活動するための実践力の育成
  - 児童会活動、委員会活動、学級活動、異年齢交流活動、福祉活動や勤労生産・奉仕活動等を通して、ユネスコスクールの理念である「つながり」「関わり」を尊重し、人間性を育むとともに思いやりの心を育成する。
  - 青少年赤十字の研究推進校として、研究の成果を踏まえ、自ら進んで学び続ける児童の育成に取り組む。
- エ 児童理解と心に迫る生徒指導の推進
  - 生徒指導において早期発見・丁寧な初期対応・確実な見届けに努め、心に迫る指導を進める。
  - 児童にとって、学校が自己存在感を感じられる心の「居場所づくり」となるように努める。
- オ 地域参画型の学校づくり
  - 専門スタッフ等の配置拡充や地域学習、総合的な学習の時間、クラブ活動等において、地域人材の有効活用を図り、教育効果を高める。伝統芸能の継承に貢献することにも重点をおく。
- カ 多忙化解消の推進
  - 新学習指導要領の趣旨を念頭におきながら、行事等の精選を図る。